

ワシントン大学夏季英語研修



ワシントン大学は、アメリカ西海岸最北部のワシントン州の中心都市シアトルに位置する歴史ある州立大学で、州立大学トップ校で形成される「パブリック・アイビー」の一つです。大学内には図書館、コンピューター室、ジム、ビリヤード場、美術館といった充実した施設が整っています。またシアトル市内には Microsoft 本社、Amazon 本社、Starbucks 本社、Boeing 工場などがあります。

本研修の履修登録は担当教員が6月下旬に行います。成績は神戸大学における全学共通授業科目「Advanced English（海外研修）」（選択科目1.0単位）の成績として学部1-4年生に前期末に単位授与（可～秀）されます。

【注意】

1. 本研修の単位は国際人間科学部の必修単位（GSP単位）としては認められていません。
2. 海洋政策科学部と医学部の学部生、大学院生（全研究科）にも本研修の単位は授与されません。

【2024年度ワシントン大学研修】

募集人数：15名（最小催行人数6名）

研修先：アメリカ合衆国 ワシントン大学 <<https://www.washington.edu/>>

研修日程：2024年8月17日（金）出発、9月10日（火）帰国（25日間）

プログラム：Short-term English Language Program Language & Culture Session 3

< <https://www.ielp.uw.edu/programs/short-programs/language-culture-step/overview> >

宿泊：ホームステイ（全日程）

費用：463,000 円（航空運賃（JAL）、ホームステイ代、ホームステイ先での 1 日 2 食の食事代、旅行代理店に銀行振込）に加えて
ワシントン大学での授業料 1840 ドル（5 月下旬にワシントン大学にクレジットカードでオンライン決済）

資料：本 PDF の pp. 9-14

問合せ：国際コミュニケーションセンター 准教授 木原恵美子 <kihara.emiko@crystal.kobe-u.ac.jp>

【研修の申込】

説明会：4 月 22 日（月）12:30-13:00 Zoom（ID 893 8031 7183/パスコード 371031）

申込受付期間：4 月 22 日（月）～ 5 月 12 日（日）23 時 59 分 59 秒

申込：Google Form <<https://forms.gle/vhwoyVVrb4jFq5ZH7>> よりお申し込みください。

【過去の応募状況】

- 2023 年度：9 名応募、9 名全員採用（1 年生 3 名 2 年生 3 名 3 年生 1 名 4 年生 2 名）
- 2020-2022 年度 実施せず
- 2019 年度：13 名応募、13 名全員採用（1 年生 6 名 2 年生 7 名）
- 2018 年度：11 名応募、11 名全員採用（1 年生 3 名 2 年生 7 名 修士生 1 名）
- 2017 年度：25 名応募、25 名全員採用（1 年生 13 名 2 年生 9 名 3 年生 3 名）
- 2016 年度：26 名応募、26 名全員採用（1 年生 13 名 2 年生 9 名 3 年生 4 名）
- 2015 年度：22 名応募、22 名全員採用（1 年生 7 名 2 年生 10 名 3 年生 4 名 4 年生 1 名）
- 2014 年度：44 名応募、選考の結果 34 名採用（1 年生 7 名 2 年生 25 名 3 年生 1 名 4 年生 1 名）
- 2013 年度：54 名応募、選考の結果 38 名採用（1 年生 11 名 2 年生 20 名 3 年生 7 名）

【ワシントン大学研修後の長期留学と大学院進学実績】

2019 年度研修生：リエージュ大学（ベルギー）

2018 年度研修生：兵庫県ワシントン州事務所（アメリカ ワシントン州 インターンシップ）

2016 年度研修生：ニューヨーク市立大学（アメリカ）トビタテ! 留学 JAPAN 7 期生、サン・ルイ大学（ベルギー）、ボッコーニ大学（イタリア）

2015 年度研修生：カレル大学（チェコ）

2014 年度研修生：ワシントン大学（アメリカ）、ニューヨーク市立大学（アメリカ、うち 1 名私費留学）、バルセロナ自治大学（スペイン）、釜山大学（韓国）、リンショピン大学（スウェーデン）、タンペレ工科大学（フィンランド）トビタテ! 留学 JAPAN 3 期生、西オーストラリア大学（オーストラリア）トビタテ! 留学 JAPAN 7 期生

2013 年度研修生：ヴェネツィア大学（イタリア）、西オーストラリア大学（オーストラリア）、リンショピン大学（スウェーデン）、京都大学 農学研究科 進学、京都大学 情報学研究科 進学

2012 年度研修生：クイーンズランド工科大学（オーストラリア）、西オーストラリア大学（オーストラリア）、ダブリンシティ大学（アイルランド）、マンチェスター大学（イギリス）、ワルシャワ大学（ポーランド）、ヤゲウォ大学（ポーランド）、The University of Texas, Austin, Physics Ph.D. Program 進学、東京工業大学 総合理工学研究科 進学

2011 年度研修生：ユタ州立大学（アメリカ合衆国）、ルーヴァンカトリック大学（ベルギー）、ソウル国立大学（韓国）、シドニー大学（オーストラリア）、オーフス大学（デンマーク）

【過去の研修生より】

① 2023 年度研修生 法学部 小曾根 葵さん

大学在学中に一度は海外に行って異文化を体験したい、そんな思いでこの研修に応募しました。シアトル滞在中は、ホストファミリーやワシントン大学の学生・先生、インタビュー課題や通学・観光の中で出会う人と想像していた以上にたくさんの人とコミュニケーションをとる機会に恵まれました。母国語ではなく第二外国語として学んだ英語を使いこなしている人や、自分と同年代の現地学生との会話からは、特に刺激を受けました。

また、約1か月生活する中で、世界各地から多様なアイデンティティ・価値観・文化をもつ人々が集まり、その文化が組み合わさって「アメリカの文化」が作られていくということ、いわゆる「人種のるつぼ」とか「人種のサラダボウル」とは何か、初めて分かった気がしました。同時に、自分の過ごしてきた環境や自分のもっている価値観は数あるうちの1つに過ぎないのだということに改めて気づかされました。

振り返ると、この研修だけで英語力が飛躍したり、自分の考え方が全く変わったりしたわけではありません。しかし、参加すると決断したことも含め、研修全体を通して得た経験は、失敗を恐れず新しいことに挑戦していきたいという意欲、そして自信につながりました。現地に行くからこそできる経験や学びがたくさんあり、どのような進路を考えている人にとってもきっと有意義な時間になるはずです。私自身もこの研修を活かし今後努力していきたいと思っています。

② 2014年度研修生 農学部 高階 空也さん（トビタテ！留学JAPAN 7期生）

人生の生き方が変わりました。大げさに言っているわけではありません。これまでとは全く異なる新しい生き方を始めるきっかけとなったのがこのワシントン大学研修でした。人生の転機でした。センター試験の英語リスニングテストは50点中22点。今でも鮮明に覚えているほど英語が大嫌いでした。しかし「海外に行ったことがあるよ」と言うためだけに大学2年生の夏にワシントン大学研修へ参加しました。

何もかもが日本と違いました！全てに戸惑ったと同時に全てに感動しました！道の聞き方もわからないほど英語は話せませんでしたが、身振り手振りで自分の思いを相手に伝えることができること、日本では会えない人々と意思疎通ができることにとっても感動しました。日本しか知らない自分の世界がいかに小さいものかを感じました！日本を出れば世界にはもっと色々な人たちがいて、その人たちと交流しないことがどんなにもったいないことなのかを痛感しました！

研修に参加する前はサークル活動もほとんど参加せずただバイトをして大学生活を過ごしていました。しかしシアトルから帰国してからは、国際的な環境に身を置き、様々な国の人と話したいという想いから、諸外国から国際的に大学生が集まる[国際学生会議](#)に所属し、今では副実行委員長を務めています。また大嫌いだった英語も猛烈に勉強して交換留学に必要なTOEFLスコアも獲得することができました。「努力を続けて行動を起こす」原動力に火をつけてくれたのは全てこのシアトルでの生活でした。

私ほど人生の生き方を180°変える経験をする人も少ないかもしれませんが、もしまだ海外研修を体験していなければ行くべきだと思います。帰国後のあなたの人生が大きく動き出すかもしれません。日本ではない世界、広い世界を直に感じてください。

③ 2014年度研修生 工学部 市民工学科 口井 雅之さん（トビタテ！留学 JAPAN 3期生）

私の留学生活は、スターバックスでの注文から始まった。白人のお姉さんと向かい合って5秒後には私はパニックに陥っていた。“chocolate”が通じなかった。“tall”が通じなかった。店員がなにを言っているのかわからなかった。名前を“Masa”と言ったら、出てきたドリンクに書かれていた名前は、“Mata”だった。カフェでドリンクを注文するだけのことで、今の自分にとっては困難であると痛感した。

授業での発言、街頭インタビュー、ホームステイ先でのコミュニケーションやシアトルでの生活は日本と同じところを探す方が難しいほど違って、無数の困難への挑戦の連続であった。不可抗力で襲いかかってきていた困難だったが、トライし続けるうちに成功体験が積み上げられ、自信が強まる。すると次は逆に自ら困難に飛び込めるようになった。挑戦することによって自信が生まれ、自信を持つことによって挑戦できる。困難から逃げていては何も始まらないと学んだ。

最終日、スターバックス本社を訪れた。敷地に足を踏み入れた瞬間、内装・構造の壮大さ、美しさに目を奪われた。想定していた、机と椅子が効率的に並べられた環境などとんでもない。オフィスデスクになんて誰も座っていなかった。社内のスターバックスカフェで自由に楽しそうに会議をしていた。環境が違えばこうも違うのか。シアトルの日常生活で頻繁に感じていたアメリカの「自由」を体現した職場であると感じた。それと同時に、アメリカの自由について知ったつもりでいただけで、自分で見て感じて、初めて実感を伴った理解が得られたことに気づいた。

本社の見学を終えた後、私はスターバックスカフェで注文の列に並んでいた。この一ヶ月、生活文化やコミュニケーションなど無数の困難へ挑戦し続けた私は、5秒後、余裕の表情で“hot chocolate”の“tall”を手にしていた。この留学で私が学んだことのキーワードは「自由」「実体験すること」「挑戦すること」の3つである。「自由」とは、自分の人生について、自分で考え、自分なりに生きていくことやその権利のことである。また、物事を本当に理解するには自分の目でみて肌で感じる「実体験」が必要である。「挑戦すること」によって自信が生まれ、自信を持つことによって挑戦できる。「挑戦すること」がはじめの一歩である。

帰国して、私は専門を決める前に世界を自分の目で見てもっと知りたいと強く感じた。また自由について考えた時、これまで置かれてきた環境、慣習、周囲の視線、その他様々なものに縛られ、流されて生きてきたことに気付いた。親に勧められるまま、なんとなく行ったアメリカへの留学であったが、今度は自分の意志で長期の留学に行くことを決意した。アメリカでの経験があり、私は市民工学科としては前代未聞である学部3年で留学することを決意した。

しかし、理系の学部から留学に行くことには様々な障害があった。留学することは留年を意味すること。百数万の費用がかかるが、奨学金制度が充実していないこと。(他学部ではもらえる奨学金が工学部ではもらえない。)短期留学に行く前の私ならこれらの困難が現れた時点で諦めていただろう。しかし、挑戦してみなければ何も変わらない、始まらない。留学について詳しいと思われる大学教授のところいき、フィンランドでとれる授業を単位互換できるか、学部以外でももらえる奨学金はあるのか、片端から話を聞きに行った。その結果、単位互換は認めもらえること、トビタテ!留学 JAPAN という奨学金を提供している組織があることを知ることができた。奨学金について聞いた後も、審査に合格するために教授や大学の面接担当の方にお願ひし、無事合格することができた。

挑戦した結果、トビタテ!留学 JAPAN に合格し、渡航費 20 万円、現地活動費月 16 万をいただいて現在フィンランドに留学している。それに加え、トビタテが提供する独自のコミュニティーの恩恵も受けて、様々な活動に取り組んでいる。これは研修で学んだ挑戦する意思、姿勢があったからこそ獲得できたことである。

もちろん、アメリカでの生活で感じること、学ぶことは人それぞれであると思う。快適な空間から飛び出し、日々無数のトライをして、自分の価値観を揺るがず経験を積むことは今後の人生に影響を及ぼすことは間違い無い。留学に少しでも興味をもっているのであれば、挑戦へのはじめの一歩として、考える前にトビコンで見てはどうだろうか。

④ 2012 年度研修生 農学部 小西 康介さん

最初に少し僕の英語学習の変遷について紹介します。僕は 2012 年度のワシントン大学研修に参加した農学部生。半年後に交換留学の選考を通過して 2014 年 2 月から西オーストラリア大学に 1 年間留学。帰国後は TOEFL iBT 92 取得、全国英語プレゼンテーションコンテストに参加、決勝の一手前まで進出 (TOP 20 位)。ただ僕の大学入学当時の英語力はセンター試験 160 点、それだけでした。そんな僕にとっての短期海外研修は、振り返ってみれば、非常に有意義な経験でした。

実体験をしたこと、これは大きな経験になりました。ホストファミリーと英語を話す楽しさ、難しさ、英語で授業を受ける刺激的な生活、広大な歴史あるキャンパスを散歩、どの瞬間も新鮮なものでした。どんな楽しそうな留学報告書を読むよりも、実際に短期海外生活を経験することは、交換留学を目指す上で大きなモチベーションになりました。

この短期海外研修では、自己研鑽の重要性にも気づくことができました。日本で僕よりも英語の学習に力をいれていた他の学生は、一つ上のレベルの授業を受講していました。それは羨ましかったですし、海外に行けば、行ってから、何かが変わると思っていた自分の甘さに

も悔しくなりました。日々の積み重ねが次の挑戦の環境を決めることを実感しました。

語学研修への参加を迷っている学生がいたら、とりあえず参加すればいいと思います。できればしっかりと準備して。行動を起こして実体験をすれば色々なものが見えてくると期待しながら。研修後に自分は海外生活に興味がないと気づく人がいるかもしれませんが、それが実体験をしたあとの結論なら、気持ちよく次の目標に向かえると思います。

⑤ 2012年度研修生 経営学部 矢部 健太郎さん

シアトルでの短期海外研修は、私の大学生生活、ひいては私の人生をも大きく飛躍させる「起爆剤」のようなものだった。短期海外研修に対して、「本当に英語力が伸びるのか」「ただの海外旅行じゃないのか」と批判的な意見を持っている人も少なくないだろう。確かに、3週間の研修で英語がネイティブ並にペラペラになったり、TOEICが満点になったりするのはごく稀な例だ。しかし、この短期海外研修が学生にとって今後大きく羽ばたく「きっかけ」となることは往々にしてあり得ると私は断言できる。

実際、英語が苦手だった私にとって海外は縁遠いものであった。「みんな行ってるし、自分もちょっと行ってみようかな。」そのような気持ちでシアトルでの研修に臨んだ。しかし、ホストファミリーの温かさに触れたり、グローバル企業の本社ビルを訪れたり、そして何より外国人と英語でコミュニケーションをとるという機会にさらされて抱いた感情は「もっともっと頑張りたい」というものだった。

シアトルで湧き上がったモチベーションをそのままに、私は帰国後も英語に挑戦し続けた。研修の翌年には神戸大学英語プレゼンテーションコンテスト KUEPCON で優勝、そしてそのまま長期留学を決意し、10ヶ月間オーストラリアの大学で勉学に励んだ。その結果 TOEIC は研修前の 600 点台から 1.5 倍以上になり、外国人相手に臆することもなくなった。そして何より、これから社会に出て海外でやっていく自信に繋がったのは私の人生において大きな意味をもつだろう。

海外研修に行くまでは、まさか私が英語プレゼンコンテストに出場するとは、1年弱も留学に行くことになるとは、そしてこれから海外でやっていこうとは夢にも思ってもいなかった。全てはシアトルでの短期海外研修がきっかけとなったことは間違いない。この短期海外研修を海外に目を向ける「スタートライン」として捉えてみるのも良いのではないかと私は思う。

⑥ 2012年度研修生 理学部 高木 涼太さん

僕は大学に入学する前から漠然とした海外への憧れがあった。「なんかカッコイイし大学に入ったら留学なんてできたらいいな」となんと

なく思っていた。このワシントン大学研修に興味をもってこの文章を読んでいる人達にもそういう思いを抱いている人はいるんじゃないかと思う。具体的にこの研修を将来に繋げるところまで想像出来ている人なんてほとんどいないだろう。もちろん僕もこの研修に参加したときには将来のことなんて全く想像していなかった。ただこの研修のことを何かの機会に知って、面白そうだし参加してみようと思って軽い気持ちで参加を決めた。

実際にワシントン大学に行って感じたことはアメリカの大学の規模の大きさだった。日本の大学では考えられない風景が広がっていた衝撃を今でも思い出す。また人もとてもあたたかった。研修中の授業の一環として公園にいる人にインタビューをするという課題があったのだが、何を言っているかよく分からないであろう僕らの英語に対して笑顔で丁寧にインタビューに答えてくれた人々がとても印象に残っている。本当に3週間があつというまで、日本でば一とした夏休みを過ごすよりも何倍も濃く新鮮なものだった。こんな環境で学生生活を送れたらどんなに楽しいものだろうかとそのとき思った。

帰国してからも理学部の専門科目をしっかり勉強する傍ら、少しでも英語に触れていようと思い外国人が集まるというクラブに繰り出したり、神戸大学の英語のプレゼンセミナーを受講したりとなんとか英語に触れる努力をしていた。授業の合間に理学部から国文までプレゼンセミナーを受けに行く僕の姿をみて友達が「よくやるよね～」なんて言われるくらいに合間を縫って英語に触れようとしていた。なぜかは分からないがこの地道な努力が将来役に立つだろうという確信があった。

4回生にあがる前に、どの研究室に入るか、また大学院はどうするかという進路について考えなければならない時期があった。そのときの僕は海外への憧れを捨てきれぬまま自分の専門の勉強に励んでいた。理系の学問の特性上、海外留学との両立は厳しいように思え、多くの人がそうするように普通に大学院へ行き、技術系の企業に勤めるという選択肢も考えた。しかし、ここで海外への憧れとワシントン大学での経験が僕をもう一つの選択肢へと目を向けさせた。アメリカの大学院に行けばその両立ができるのである。これは大きな決断であったが、その道を進むと決めてからは猪突猛進という言葉そのままに約1年間ひたすら勉強した。

2015年3月の始め、The University of Texas at Austin, Physics Ph.D. Program から合格通知が届いた。約5-6年のアメリカ生活への切符である。全ての始まりはこのワシントン大学研修だった。これがなければ海外への憧れを悶々と募らせたまま僕の大学生活は終わっていただろう。この3週間という研修期間で劇的に何かが変わるわけではないと思う。しかしその経験はその後の選択の際の視野を広げ、行動を起こす原動力となるには十分な力を持っている。

神戸大学 大学教育推進機構 国際コミュニケーションセンター 企画・支援

<http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/solac/washinton.html>

2024 年度
ワシントン大学夏季英語研修

説明会資料

2024 年 4 月 22 日 (月) 12:30~13:00
Zoom
(ID 893 8031 7183/パスコード 371031)



17 August - 10 September, 2024
The University of Washington, Seattle, USA

本研修講座の趣旨

本研修講座は、神戸大学の学生諸君の外国語運用力を高め、あわせて異文化に触れる機会を提供するものです。教室での授業での日頃の学習の成果を試す実践の場でもあります。

本研修は、大学での勉学に必要な英語の運用力の向上とアメリカ合衆国の文化・社会の理解に資する内容となっています。英語学習において、実際に現地で暮らしながら、英語を学ぶことは重要な意味をもっています。それは、教室での擬似体験では得られない、生の英語に触れることで、週に2回、3時間という細切れではなく、毎日24時間、ときには夢の中でも英語という環境に漬かることです。英語という重力を体全体で感じることです。

海外外国語研修の目的は、海外で集中的に研修をおこなうことによって、効果的に語学力を高めるとともに、異文化社会に直接触れ、幅広い教養と視野を持った人材を育成することにあります。また、今後、中・長期の海外留学をしようという学生諸君にとっては、その準備段階としても役立つでしょう。

ワシントン大学夏季英語研修の概要

【受入機関】

ワシントン大学 (州立大学 The University of Washington)

アメリカ合衆国 ワシントン州 < <http://www.washington.edu/> >

【プログラム】

The University of Washington, Short-term English Language Program (UW, STEP)

午前：コミュニケーション能力養成のための英語レッスン

Language and Culture クラス (TOEIC・TOEFL のスコア不要)

< <http://www.ielp.uw.edu/programs/language-culture/language-culture-STEP/> >

午後：課外活動 (ダウンタウン観光、湖上アクティビティ等)

【日程】 (全日空 利用予定)

2024年8月17日(金) 伊丹空港出発 ~ 8月17日(金) シアトル・タコマ空港国際到着

2024年8月19日(月) STEPプログラム開始 ~ 9月6日(金) STEPプログラム終了

2024年9月9日(月) シアトル・タコマ国際空港出発 ~ 9月10日(火) 伊丹空港到着

【滞在先】

ホームステイを利用します。

※現地では、日本人コーディネーターが、シアトル・タコマ国際空港到着から出発まで、研修生の日々の生活をアシスタンスしてくれます。

【費用】

総額 463,000 円 (銀行振込) + STEP 授業料 1840 ドル (クレジットカード払い)

※今後の為替の動きによっては、この金額が増減することがあります。

※この総額には、航空券、海外旅行保険 (一部)、STEP 研修費用 (教材、授業料、課外活動費等)、ホームステイ費用 (宿泊費、朝晩の食事代)、シアトル・タコマ国際空港~ワシントン大学間の送迎バス代金、が含まれます。

※現地での交通費、ランチやホームステイ先以外でとる食事 (外食) にかかる代金、伊丹空港から自宅までの交通費、お土産代などは個人負担となります。

【対象・募集人数】

神戸大学在籍の学部生 15 名

※最小催行人数は 6 名です。申込者 5 名以下の場合でも渡航できますが、大学からの支援はなく、単位もつきません。

【オンライン申込】

申込は以下のサイトから行うこと。 < <http://goo.gl/5g74k> >

↑ 5,7,4 以外はアルファベット

本研修の学内サイト : <http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/solac/washington.html>

【申込受付期間】

2024 年 4 月 22 日 (月) 午前 9 時 0 分 ~ 5 月 12 日 (日) 23 時 59 分 59 秒

※必ず、この期限内に、submit ボタンをクリックすること。4 月 22 日 9 時以前、5 月 13 日以降に送信された学生の情報は選考の対象外となります。

※本研修の日程が、各学部で実施される実習や集中講義の日程と重なっていないかを十分に確認すること。(毎年、数名の学生が直前にキャンセルをしています。キャンセルをする時期によってはキャンセル代金が発生します。)

【研修生選考期間】

2024 年 5 月 13 日 (月) ~ 5 月 17 日 (金)

※応募者多数の場合に限り、志望動機に基づいて研修生が選考されます。選考結果は、応募者全員に、5 月 13 日より <kihara.undergrad@gmail.com> より email で連絡されます。

【研修生のスケジュール】

有意義で実りある研修にするために、下記の日程でオリエンテーションが行われます。研修生は必ず全てのオリエンテーションに出席すること。

5 月 24 日 (金) 12:30-13:00 第 1 回学内オリエンテーション	Zoom	各種申込用紙の記入方法の確認 STEP で受講を希望するクラスの確認
5 月 24 日 (金) STEP 授業料支払い	クレジットカード (オンライン)	1840 ドル決済
6 月 21 日 (金) 17 時	B 棟 1 階 (運動場側から 2 番目の扉)	参加申込書 (保護者署名捺印)、ホームステイ申込書 (3 ページ、写真貼付)、緊急医療処理承諾書 (保護者署名捺印)、パスポートのコピー (顔写真のページ)、ESTA のコピー、OSSMA 誓約書 (本人・保護者署名捺印)、以上の書類を提出
7 月下旬	銀行	旅行代金の振込締切
第 2 回学内オリエンテーション 8 月 6 日 (火) 10:30-13:00	Zoom	ホストファミリー、スケジュールの確認
9 月 17 日 (月)	うりぼーネット	「Advanced English (海外研修)」成績報告

【OSSMA 危機管理プログラム・学内オリエンテーション】

学内で開催されるオリエンテーションに 1 回出席すること。(詳細は追って連絡します。)

2024 年度 ワシントン大学夏季英語研修 参加申込にあたっての留意点

1. 参加申込にあたっては、保護者ないしはご家族と十分に話し合った上で、お申し込み下さい。また、所属学部・学科の行事等、部活動のスケジュールなども十分に確認した上で、参加申込を行ってください。
2. 神戸大学の学生として恥ずかしくない行動をとることができる学生の参加を期待します。書類提出の期限、オリエンテーションへの出席、団体行動に対する意識など、規律ある行動をとるように心がけてください。このようなことが遵守されない場合は、参加を取り消すことがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
3. 本研修は、研修プログラムの趣旨に照らして、神戸大学の学部学生、特に1～2年生を主な対象としています。レベルは初級～中級程度とお考え下さい。
4. 本研修の海外渡航期間を個人的に変更することはできません。定められた日程で出国、帰国することをあらかじめご承知おき下さい。規定の行程に従うことができない場合は、本研修への参加はみとめられません。
5. 本研修生に選ばれた学生で、パスポートを未取得の者は、ただちに申請手続きに取りかかってください。
6. 申込後は、よりよい研修となるように、また研修までの準備のために、「学内オリエンテーション」が2回開催されます。全てのオリエンテーションに必ず出席してください。
7. 本研修では、シアトル・タコマ国際空港到着から、シアトル・タコマ国際空港出発までは、日本人コーディネーターが同行します。
8. 本研修では、ホームステイ先に滞在します。原則として、ホームステイは、ホストファミリー1家庭に対して神戸大学生1名が配置される予定です。
9. 本研修の成績を以て「Advanced English (海外研修)」の単位授与(可～秀)が行われます。(ただし海洋政策科学部と医学部にはこの科目は担当されていないので(研修には参加できますが)単位は取得できません。)
10. 本学の海外研修に参加する学生は、「OSSMA 危機管理プログラム」への登録と、オリエンテーションへの参加も義務付けられています。具体的な手続きについては、国際コミュニケーションセンターの教員が指示します。なお OSSMA に関する費用は全て大学が負担します。

【オンライン申込上の注意】オンライン申込サイト：<http://goo.gl/5g74k>

1. 電子メールアドレスは、申込後のさまざまな連絡に必要となるほか、研修中にも重要な連絡手段となりますので、海外でもメールがチェック可能で、国内でも頻繁に使用するメールアドレス(gmail を推奨)を入力してください。
2. 学内の他の英語研修と重複して申し込むことはできません。
3. 応募者が多数の場合に限り、「志望動機」に基づいて研修生が選考されます。この申込は先着順ではありません。
4. オンライン申込受付の締切は5月12日(日)23時59分59秒です。(4月22日9時以前、5月13日以降にsubmitされた情報は選考の対象外となるのでくれぐれも注意すること。)

学内問い合わせ先

2024 年度 ワシントン大学夏季英語研修 担当教員

木原恵美子 (国際コミュニケーションセンター 准教授) <kihara.emiko@crystal.kobe-u.ac.jp>

TOKYO EXPRESS INTERNATIONAL CO.,LTD.

Toranomon Office Kamiyacho MT bldg. 3-20, Toranomon 4-chome, Minato-ku, Tokyo, Japan 〒105-0001 Phone:03-5404-3552

株式会社 東京エクスプレスインターナショナル 虎ノ門営業所

観光庁長官登録旅行業 第125号 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4丁目3-20 神谷町MTビル14F 電話：03-5404-3552（代）

2024年1月31日

神戸大学
国際コミュニケーションセンター 御中

観光庁長官登録旅行業 第125号 JATA 正会員
株式会社 東京エクスプレスインターナショナル
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル14F
総合旅行業務取扱管理者：遠藤 毅

ワシントン大学 STEP 研修

【御見積書】

2024年度「州立ワシントン大学 STEP 研修」につきまして下記の通りお見積もり致しました。
どうぞよろしくご検討下さいますようお願い申し上げます。

記

研修地・ ワシントン大学（米国・ワシントン州・シアトル市）
研修期間 2024年8月17日（土）から9月10日（火） <25日間>
研修内容 2023年度 STEP Program (Language & Culture Session 3)の内容に準じます。
※Language & Culture コースのみで Orientation to Academic Skills は実施されません。
参加定員 15名様（最少実施人数 6名様）
概算見積金額 463,000円（参加者が10名様の場合）
計算航空会社 日本航空 エコノミークラス
旅程管理 日本からの添乗員は同行いたしません。シアトル到着から出発まで弊社スタッフがお世話申し上げます。
お見積り明細 上記お見積もりには下記の内容が含まれております。

- ①伊丹空港～シアトル往復航空運賃、日本・米国空港税、航空保険料、国際観光旅客税
- ②シアトルタコマ空港～ワシントン大学往復送迎代金
- ③研修中のアクティビティの諸費用
- ④ホームステイ滞在費（1名又は2名1家庭・朝夕食付き）、コーディネーター費用
- ⑤シアトル空港出迎えから見送りまで現地滞在中の弊社スタッフによるアシスタンス費用
- ⑥団体行動中のチップ等諸経費
- ⑦日本出発前のオリエンテーション資料代、通信費などの諸経費
- ⑧出発当日伊丹空港での搭乗手続き案内費用
- ⑨STEP 登録手続案内

以下の経費はお見積もりには含まれておりません。

- ①STEP 授業料・登録料（Language & Culture Session 3: 8/19～9/6 合計\$1840.00）
- ②航空保険・燃油サーチャージ *4月中旬～下旬頃決定（現行適用額 2-3月発券分 88,000円）
- ③ホストファミリーによる提供以外の食事代（昼食代等）
- ④通学及びアクティビティの移動に要する交通費（U-Pass 利用時 \$150 予定）
- ⑤海外旅行傷害保険
- ⑥渡航手続費用 *ESTA 申請料実費 \$21.00、旅券印紙代、査証代金 ※必要な場合のみ
- ⑦超過手荷物料金 *お一人につき2個又は規定の重量を超える受託手荷物超過料金
- ⑧国内交通費・宿泊費 *自宅より出発・帰国時の集合・解散場所までの交通費及び宿泊費
- ⑨個人的費用 *お小遣い、自由行動中に飲食代、洗濯代、電話料金等
- ⑩その他 *旅程以外の単独行動に伴う諸費用

TOKYO EXPRESS INTERNATIONAL CO.,LTD.

Toranomon Office Kamiyacho MT bldg. 3-20, Toranomon 4-chome, Minato-ku, Tokyo, Japan 〒105-0001 Phone:03-5404-3552

株式会社 東京エクスプレスインターナショナル 虎ノ門営業所

観光庁長官登録旅行業 第125号 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4丁目3-20 神谷町MTビル14F 電話：03-5404-3552（代）

研修中の STEP フィールドトリップ以外で、貴学学生用の以下のアクティビティー案は以下の通り

アクティビティー案

・FIUTS Friday Event

UW 新入生及び留学生用の親睦アクティビティーに参加します（任意参加）

2023年の例: Tea Tasting and Dim Sum

・市内企業訪問（Amazon AWS Skills Center）

シアトル主要企業の一つであるアマゾン本社キャンパスにある Amazon Web Skills Center を訪問してクラウドコンピューティングがどのように現実世界に活用されているのかを紹介する展示や、クラウドコンピューティングに関するレクチャーも受講できます。

現地スタッフ

弊社シアトルスタッフの主なご案内内容は以下の通りです。

- ・シアトル到着時のお出迎え
- ・通学に利用するメトロバス、ライトレールの利用の仕方についてのご案内
- ・ホストファミリー引き渡し前のホームステイオリエンテーション
- ・研修初日（Registration 時）のサポート（Student ID 受領手続等も含む）
- ・学生よりのお問い合わせに対する対応
- ・病気・怪我など緊急時の対応（病院への同行・通訳など）
- ・ホームステイに関する相談の随時受付
- ・シアトル出発時のお見送り

※弊社スタッフによる全般的なアシスタンスの他、ホストファミリーについてのご相談については、ホームステイコーディネーターもお手伝いさせていただきます。

授業料について

Winter Session より登録方法が変更となり、参加者個別に登録する方法に変更となりました。

ワシントン大学の Registration サイトから氏名連絡先等を入力し、同時にクレジット決済にて授業料の支払いを行うことで登録が完了します。お申込みの方々にはサイトの入力方法や決済方法について予めご案内させていただきます。

この変更により御見積金額には授業料が含まれず、授業料のお支払い時期が早まることとなりますがご出発前に参加を取りやめざるを得ない場合でも、直前まで授業料の払い戻しを受けることが出来る利点もございます。

その他

* 上記の参加費用は 2024 年 1 月 31 日現在の運賃・料金を基準に算出しております。旅程の変更や参加定員に満たない場合などは、それに伴い別途参加費用を再計算致します。

* 2024 年 2 月 1 日～3 月 31 日発券分の航空保険燃油サーチャージの金額は往復 88,000 円となります。2 ヶ月毎に更新され、発券時点（7 月発券予定）の金額を別途お支払いいただきます。

お取消の場合

(参加者について)

参加者はいつでも次に定める取消料を支払って旅行契約の解除をすることができます。

旅行出発日の前日から起算してさかのぼって：

40 日目以降 31 日目まで 45,000 円

30 日目以降 3 日前まで 旅行代金の 20% 以内

前々日以降 当日まで 旅行代金の 50% 以内

旅行開始後の解除又は無連絡参加 旅行代金の全額

旅行代金が所定の期日までに入金されず、当社がお申込みをお断りした場合や旅行開始日の集合時間に合わず出発できなかった場合も上記の取消料をお支払いいただきます。

(旅行全体が中止

された場合)

旅行実施決定後に旅行全体が取り止めになった場合は、企画料として手配にかかった経費をお支払いいただきます。経費とは通信費等の弊社手数料ならびに各手配先に対する違約金となります。

具体的な金額については、協議の上決定します。

※旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

以上よろしくご検討のほどお願い申し上げます。

研修スケジュール

日付	発着地	現地時刻	交通機関	スケジュール		食事			宿泊	
				午前	午後	朝	昼	夜		
1	8月17日 (土)	伊丹空港 発 シアトル 着	午後 航空機 午前 午後 午後	航空機 バス	伊丹空港に集合。成田空港で乗換、空路シアトルへ ***** 途中国際日付変更線通過 ***** シアトル到着 シアトルセンターにて各自昼食と見学後、ワシントン大学へ ホームステイオリエンテーション後、ホストファミリーと対面 各家庭へ		機		機	
2	8月18日 (日)				終日：自由研修 各自又はホストファミリーと過ごす		○		○	ホームステイ
3	8月19日 (月)				8:45-11:30 登録手続 Placement Testing & Registration	11:30-14:30 Welcome Lunch Campus Walk with Teachers	○	○	○	ホームステイ
4	8月20日 (火)				8:30-11:50 English Language Class	STEPフィールドトリップ (2回) 又は自由研修	○		○	ホームステイ
5	8月21日 (水)				8:30-11:50 English Language Class		○		○	ホームステイ
6	8月22日 (木)				8:30-11:50 English Language Class		○		○	ホームステイ
7	8月23日 (金)				8:30-11:50 English Language Class		FIUTS Friday Event (予定・任意) UW学生&留学生とのアクティビティ		○	○
8	8月24日 (土)				シアトルプレミアムアウトレット見学		○		○	ホームステイ
9	8月25日 (日)				終日：自由研修 各自又はホストファミリーと過ごす		○		○	ホームステイ
10	8月26日 (月)				8:30-11:50 English Language Class	STEPフィールドトリップ (2回) 又は自由研修	○		○	ホームステイ
11	8月27日 (火)				8:30-11:50 English Language Class		○		○	ホームステイ
12	8月28日 (水)				8:30-11:50 English Language Class		○		○	ホームステイ
13	8月29日 (木)				8:30-11:50 English Language Class		○		○	ホームステイ
14	8月30日 (金)				8:30-11:50 English Language Class	スターバックス リザーブ 焙煎工場見学		○	○	ホームステイ
15	8月31日 (土)				終日：自由研修 各自又はホストファミリーと過ごす		○		○	ホームステイ
16	9月1日 (日)				終日：自由研修 各自又はホストファミリーと過ごす 9/2 (月) Labor Day Holiday (祝日)		○		○	ホームステイ
17	9月2日 (月)						○		○	ホームステイ
18	9月3日 (火)				8:30-11:50 English Language Class	STEPフィールドトリップ (2回) 又は自由研修	○		○	ホームステイ
19	9月4日 (水)				8:30-11:50 English Language Class		○		○	ホームステイ
20	9月5日 (木)				8:30-11:50 English Language Class	Amazon AWS Skills Center (いずれかの日に設定)	○		○	ホームステイ
21	9月6日 (金)				8:30-11:50 English Language Class	13:00-15:00 修了式 Closing Ceremony & Reception	○		○	ホームステイ
22	9月7日 (土)				終日：自由研修 各自又はホストファミリーと過ごす		○		○	ホームステイ
23	9月8日 (日)				終日：自由研修—ホストファミリーと共に過ごす		○		○	ホームステイ
24	9月9日 (月)	シアトル 発	朝 午前 午後	バス 航空機	ホストファミリーの送迎で大学に集合 空港へ向かう シアトル出発。帰国の途へ ***** 途中国際日付変更線通過 *****		○		機	機内泊
25	9月10日 (火)	成田空港 着 伊丹空港 着	夕方 夜		成田着 入国手続き後、国内線で大阪へ 伊丹空港到着、解散			機		

★ 利用予定航空会社：日本航空 全日空

★ 上記スケジュールは現地の都合や航空会社のスケジュールによって変更となる場合もございます。